

募集締切
令和6年7月19日(金)
必着

令和6年度の助成団体を募集します！

助成額上限
10～20万円

青少年の 主体的な活動支援事業

青少年の主体的な活動やネットワークづくり、青少年の居場所を運営する団体を支援します！

A

青少年 地域活動 チャレンジ 支援事業

青少年自身が主体的に
企画・運営する青少年育成
活動や地域活動等への助成

B

青少年育成 ネットワーク モデル 支援事業

青少年団体等が他団体との
つながりづくりのために行う
活動への助成

C

青少年の 居場所 応援事業

青少年の居場所運営団体の
恒常的な活動への助成

1 助成対象となる団体

①A・Bについて

島根県内在住者で構成された青少年団体、またはその活動を支援する団体。
(特定非営利活動法人、一般・公益法人、任意団体など。市町村民会議、地区青少協も対象)

②Cについて

島根県内で青少年の居場所を運営する団体。(3年以上の活動実績があること)
※目的や活動内容が政治・宗教等に偏っておらず、反社会的勢力とは一切関わっていない団体。

2 助成期間

令和6年4月1日～令和7年2月末日まで

3 助成額

1件あたりの助成額：A・B事業は5万円～20万円、C事業は5万円～10万円
※助成団体数は予算の範囲内で決定します。

4 応募方法

募集要項は6月中旬頃に青少年育成島根県民会議ホームページ (<https://www.shimane-youth.gr.jp>)
に掲載します。応募は申請書を持参または郵送により受け付けます。

5 選考方法

青少年育成島根県民会議企画運営委員会事業部会にて審査、選考します。

6 選考結果

令和6年8月中旬頃に申請団体にお知らせします。



■問い合わせ先

青少年育成島根県民会議
松江市殿町1番地 島根県健康福祉部青少年家庭課内
TEL 0852-22-6255 FAX 0852-22-6045
E-Mail : nobinobi@shimane-youth.gr.jp



昨年度の助成団体を紹介します！

令和5年度は5団体に助成しました。

A 青少年地域活動チャレンジ支援事業 情報科学高等学校で遊ぼう学ぼう講座

＜団体名＞情報科学高等学校で遊ぼう学ぼう講座班（安来市）

「情報科学高校で遊ぼう学ぼう講座」は、高校生が講師やサポートスタッフとなり、地域の小中学生に動画編集やプログラミングなどを体験してもらう講座です。今年度は6月から10月までの休日に各1回実施し、3月にも開催予定です。夏休みには、松江市の川津公民館で出張講座も行いました。参加者からは、「丁寧に教えてくれて分かりやすかった、次回も楽しみにしています」などの感想をいただきました。講座は、3年生の13人が中心となって企画、広告、スタッフ教育、運営などをすべて行います。各小中学校へのチラシ配布は、その学校の卒業生が行きます。この講座を通して小中学生に楽しんでもらい、ICTに興味を持ってもらうこと、そして高校生自身のコミュニケーション能力、臨機応変に対応する能力を磨くことができます。



A 青少年地域活動チャレンジ支援事業 好気心Lab.

＜団体名＞一般社団法人学びdesign（松江市）

好気心Lab.は小学生から高校生が集まり、ボードゲームやものづくり、アートなどの多面的な活動を通して、こどもの好奇心を高める活動をしています。最近では、高校生が小学生をサポートする姿も見られ、より良いコミュニティになっています。

利用者からは、「ボードゲームやアートを通してコミュニケーションが自然にとれるので、初めてでも安心して参加できる」や、保護者からは、「家ではゲームばかりなので、いろんな遊びができて良い」といった感想をいただいています。引き続き、こどもたちの表現力や創造力を高める活動を心掛けながら活動を進めていきます。



A 青少年地域活動チャレンジ支援事業 吉田地区未来づくりプロジェクト

＜団体名＞吉田地区自治協議会（益田市）

吉田地区自治協議会では、小中学生の地域活動団体である「ヨシダリーダーズ」を今年度発足させました。子どもたちが自分で考え、決め、実行していくことを大切に、子ども同士はもちろん大人と子ども、大人同士もゆるやかに繋がりながら活動を行ってきました。

自分たちのやりたいこと、誰かの役に立つこと、他地域との交流など、これからも楽しさを大切にしながら活動を続けていきます。



C 青少年の居場所応援事業

小学生を対象とした長期休暇中の居場所事業

＜団体名＞特定非営利活動法人スペース（松江市）

スペースは様々な背景をもつ子どもたちが安心して過ごせるもう一つの学びの場・居場所になることを目指して活動している団体です。学校の長期休み期間中の小学生を対象として、夏の居場所、冬の居場所の活動が無事終了し、3月には春の居場所を予定しています。学習支援や遊び、困らななどの交流を通して、子どもたちの孤立を防ぐことを目的としています。居場所とあわせて、食事の提供を行い生活面での支援にも取り組んでいます。夏の居場所のアンケートでは、「毎日行くのを楽しみにしていた」「お昼の提供がとても助かった。次回もぜひ参加したい」といった肯定的な声をたくさん頂いており、スタッフともども大変さはありますがやりがいを感じています。



C 青少年の居場所応援事業 不登校の子ども体験・学習等支援

＜団体名＞子どもの居場所フリーダス（松江市）

子どもの居場所フリーダスには、絵を描く子どもたちが多くいます。最近、絵をデジタルで描くことを希望する子が増えました。この助成金を活用し、紙に描くより自由で、きれいで、楽しく描ける「iPad」を購入しました。

「私は絵を描くのが小さい頃から大好きなのですが、ずっと紙とペン、良くてスマホで指で描いていました。ですが、他の絵描きさんがiPadの大きい画面で描いているのがすごく憧れでした。なのでiPadがあるのがすごく嬉しいです。」と、子どもたちが喜んでくれています。